

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 19 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 3 年 5 月

長浜商工会議所

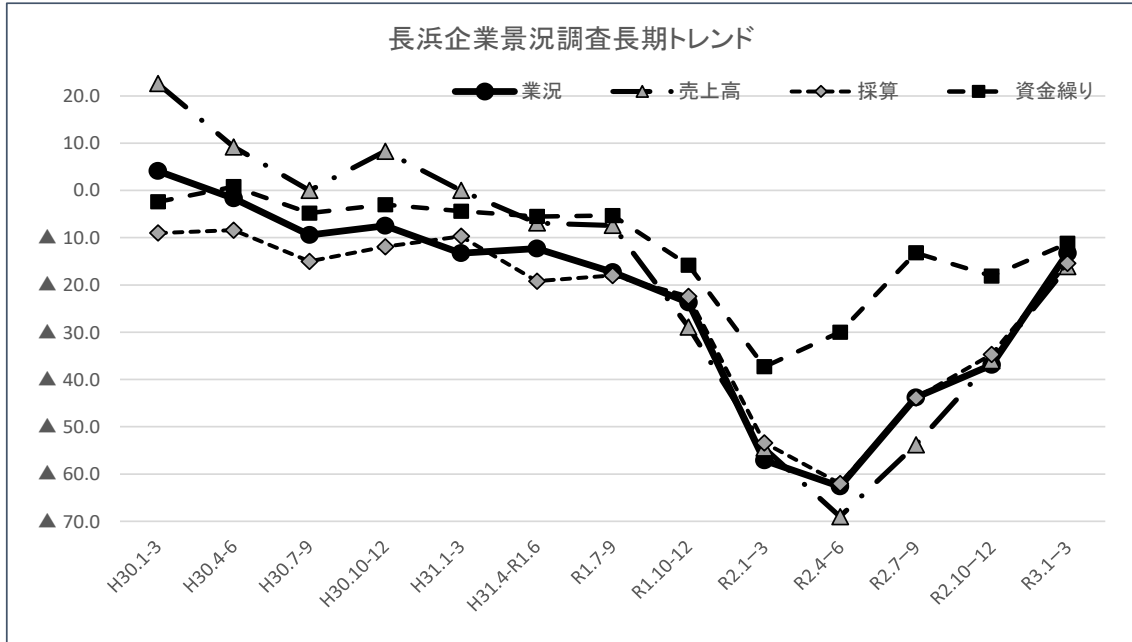
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査…仕入価格D I の推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（(株)しがぎん経済文化センター編）	7
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	9
3. 近畿の景況	
(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）	10
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	10
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	11
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	12

※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

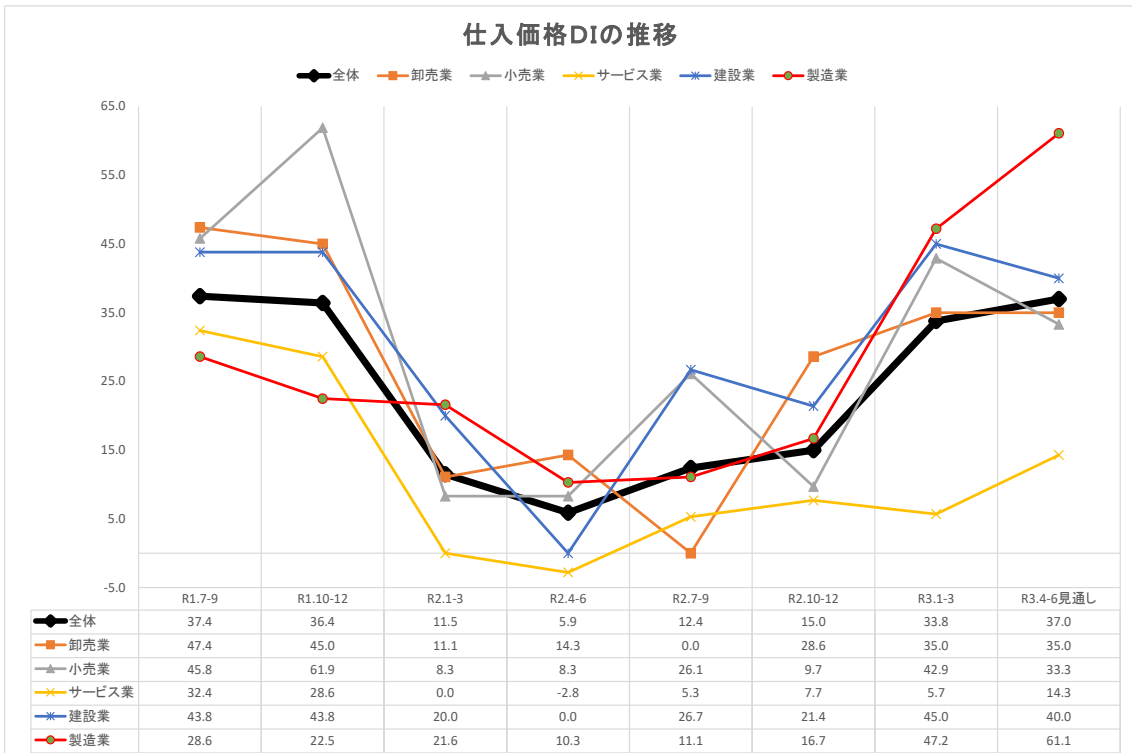
1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド [前年同期比較]



	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3
業況	4.1	▲ 1.7	▲ 9.4	▲ 7.5	▲ 13.3	▲ 12.3	▲ 17.3	▲ 23.7	▲ 57.1	▲ 62.6	▲ 43.8	▲ 36.9	▲ 13.3
売上高	22.6	9.2	0.0	8.3	0.0	▲ 6.9	▲ 7.4	▲ 28.9	▲ 54.5	▲ 69.0	▲ 53.8	▲ 36.0	▲ 16.1
採算	▲ 9.0	▲ 8.4	▲ 15.0	▲ 11.9	▲ 9.7	▲ 19.2	▲ 18.0	▲ 22.4	▲ 53.4	▲ 62.0	▲ 43.9	▲ 34.7	▲ 15.4
資金繰り	▲ 2.4	0.8	▲ 4.8	▲ 3.0	▲ 4.4	▲ 5.5	▲ 5.3	▲ 15.8	▲ 37.3	▲ 30.0	▲ 13.2	▲ 18.1	▲ 11.2

(2) 長浜企業景況調査…仕入価格D I の推移 [前年同期比較]



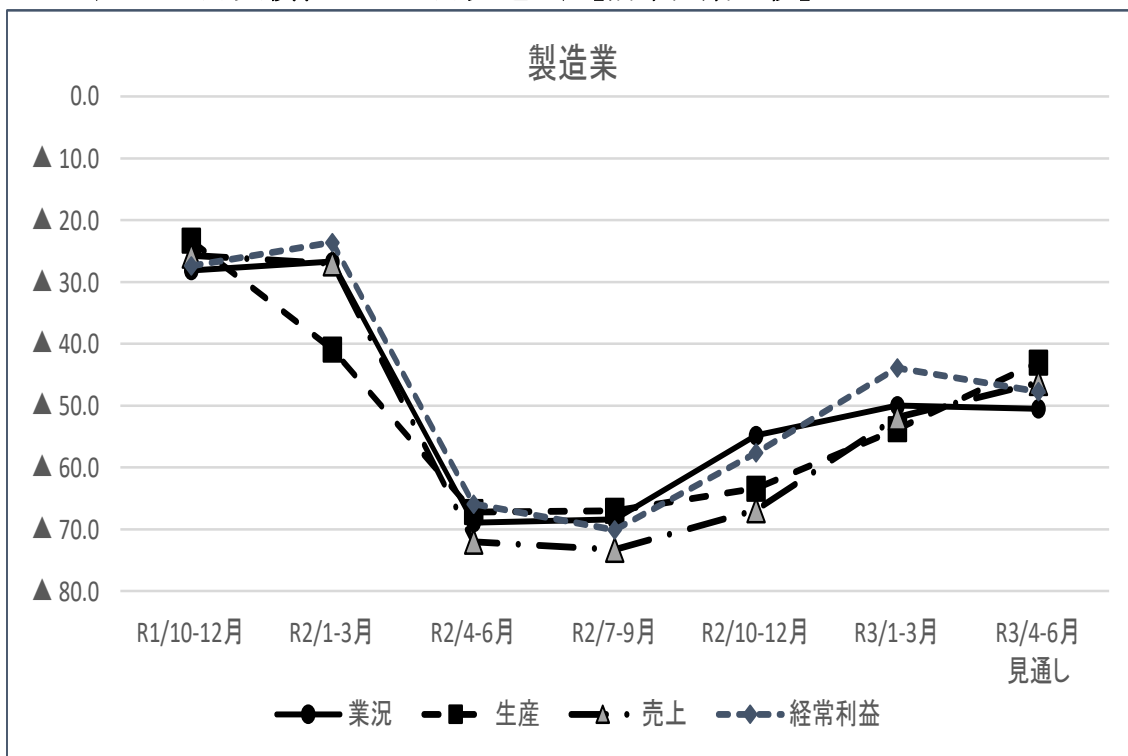
	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6見通し
● 全体	37.4	36.4	11.5	5.9	12.4	15.0	33.8	37.0
■ 卸売業	47.4	45.0	11.1	14.3	0.0	28.6	35.0	35.0
▲ 小売業	45.8	61.9	8.3	8.3	26.1	9.7	42.9	33.3
× サービス業	32.4	28.6	0.0	-2.8	5.3	7.7	5.7	14.3
✦ 建設業	43.8	43.8	20.0	0.0	26.7	21.4	45.0	40.0
● 製造業	28.6	22.5	21.6	10.3	11.1	16.7	47.2	61.1

2. 滋賀県の景況

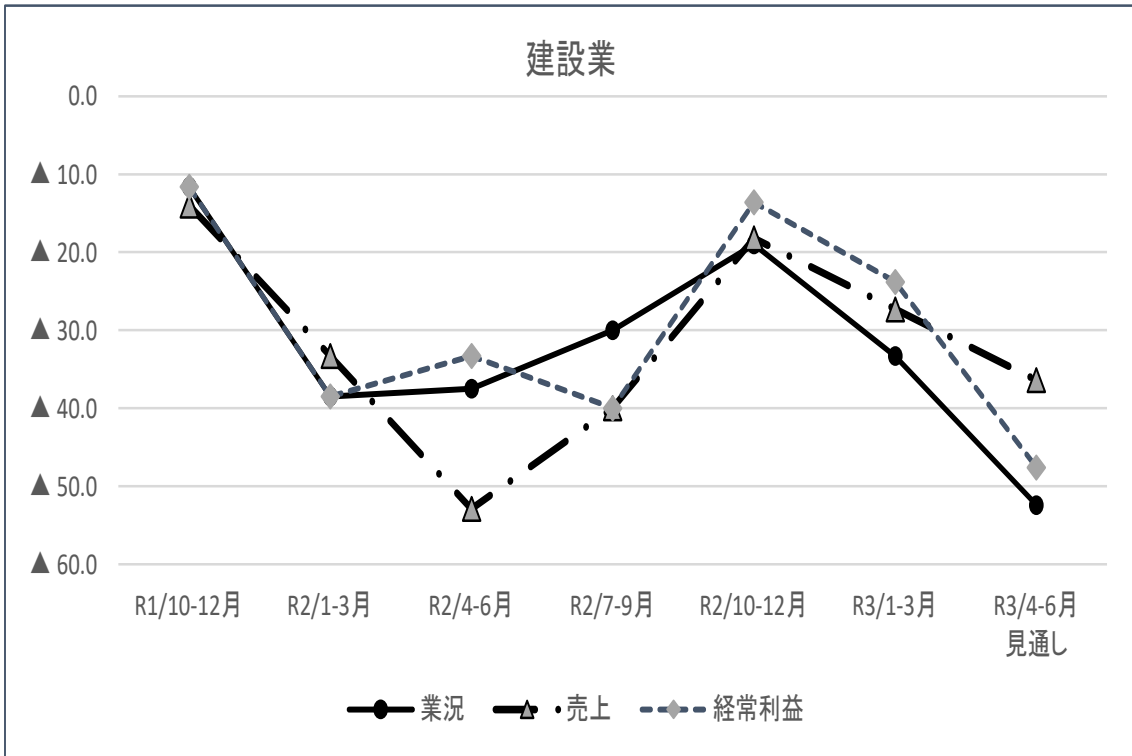
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

① 滋賀県の業種別景況動向

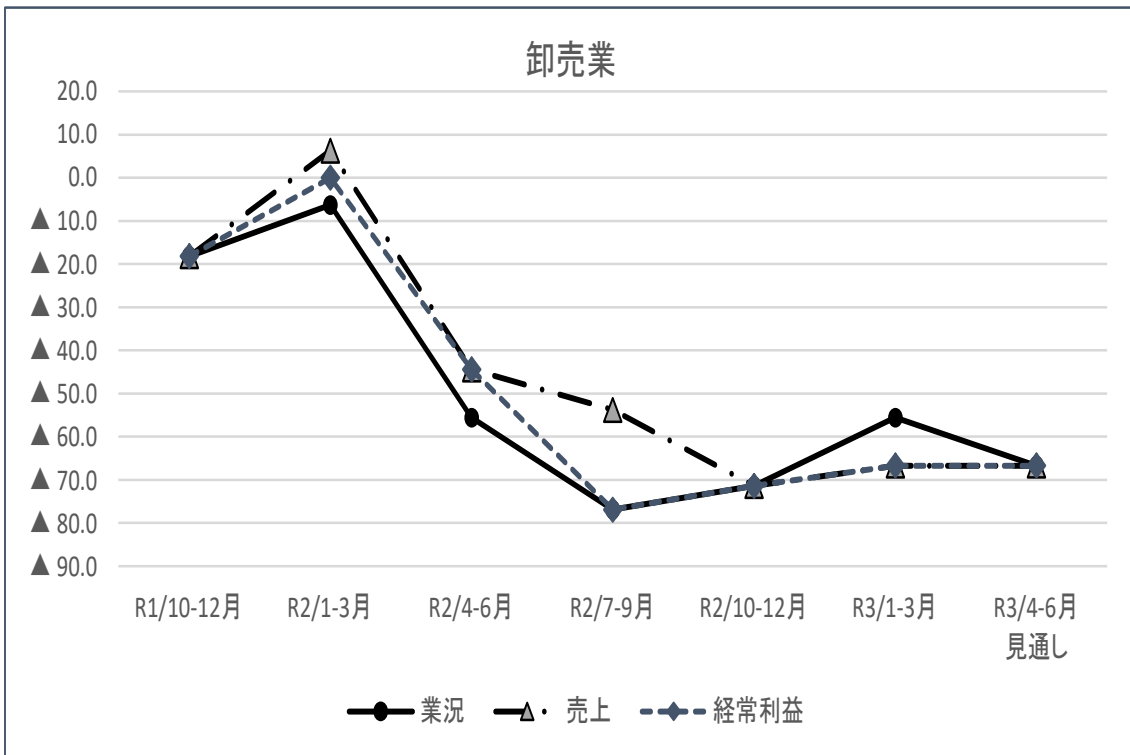
（R3/1-3月実績、R3/4-6月見通し）〔前年同期比較〕



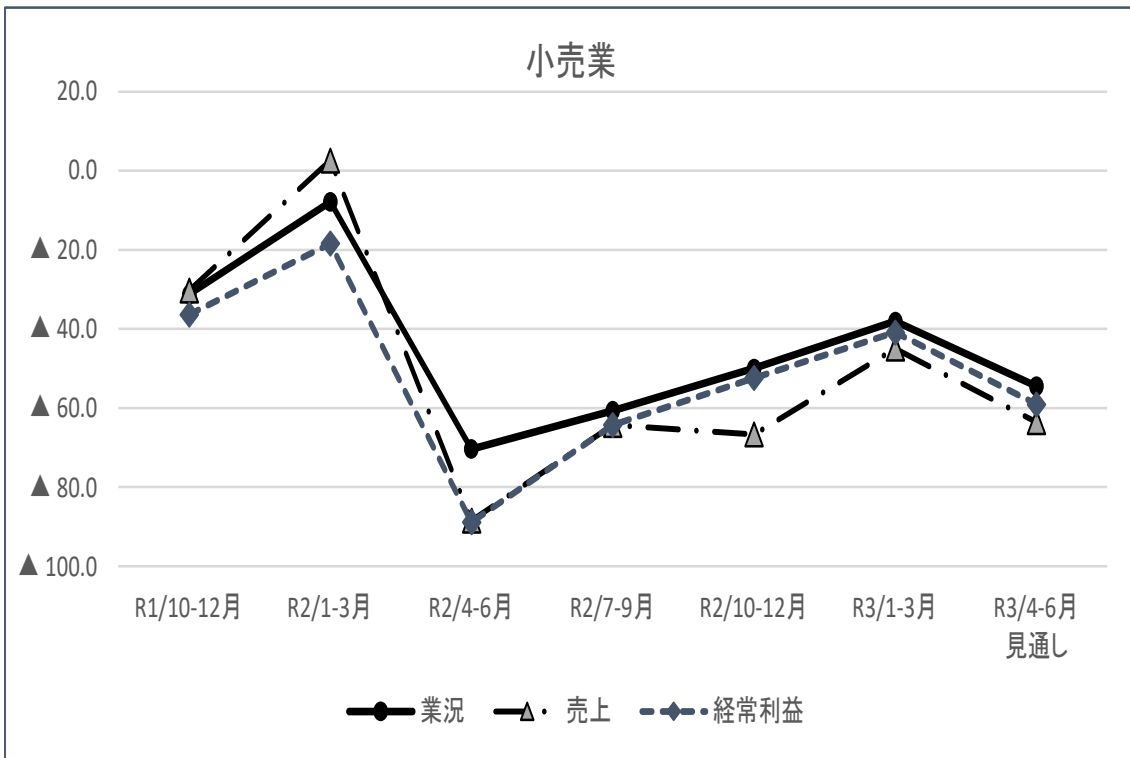
製造業	R1/10-12月	R2/1-3月	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月見通し
業況	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 50.5
生産	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 43.0
売上	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 46.3
経常利益	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 47.7
傾向	×	●	●	×	●	●	×
回答社数	184	178	134	118	126	108	108



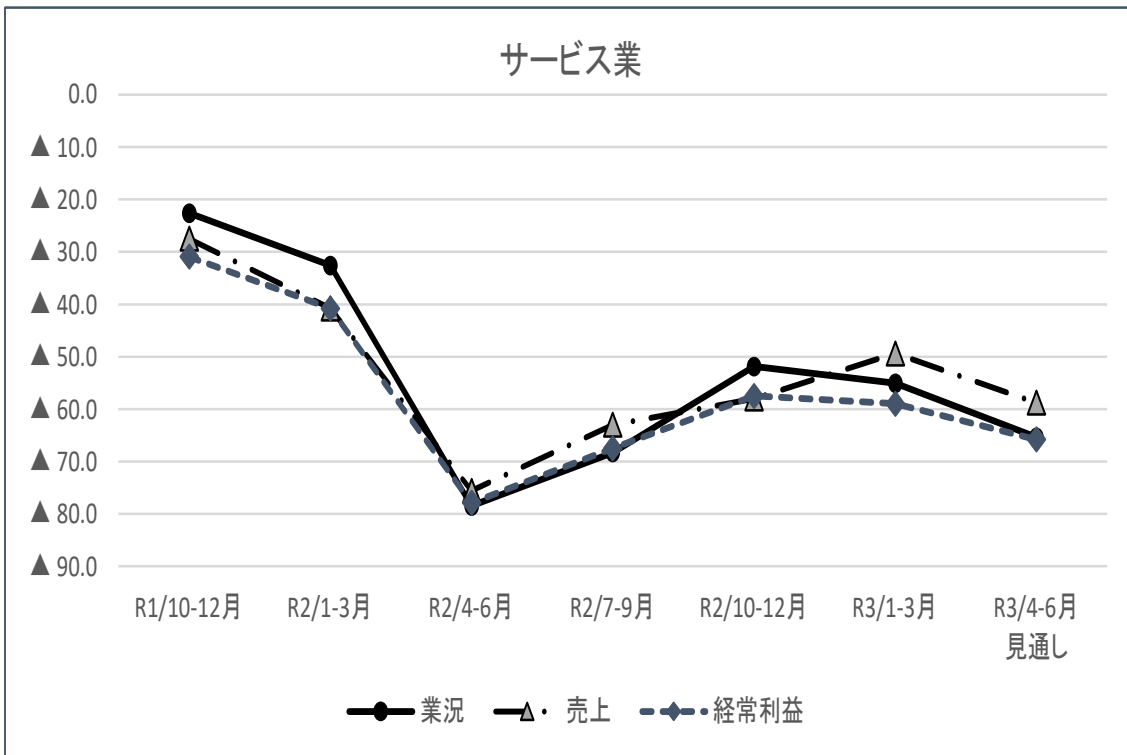
建設業	R1/10-12月	R2/1-3月	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月見通し
業況	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 52.4
売上	▲ 14.0	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4
経常利益	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 47.6
傾向	×	×	●	●	●	×	×
回答社数	45	39	18	21	22	22	22



卸売業	R1/10-12月	R2/1-3月	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月 見通し
業況	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 66.7
売上	▲ 18.2	6.3	▲ 44.4	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 66.7
経常利益	▲ 18.2	0.0	▲ 44.4	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 66.7
傾向	×	●	×	×	●	●	×
回答社数	21	16	9	13	7	9	9



小売業	R1/10-12月	R2/1-3月	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月 見通し
業況	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 54.5
売上	▲ 30.3	2.6	▲ 88.5	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 63.6
経常利益	▲ 36.4	▲ 18.4	▲ 88.9	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 59.1
傾向	×	●	×	●	●	●	×
回答社数	36	38	27	28	21	22	22



サービス業	R1/10-12月	R2/1-3月	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月 見通し
業況	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 65.4
売上	▲ 27.5	▲ 40.8	▲ 75.6	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 58.8
経常利益	▲ 30.9	▲ 40.8	▲ 77.9	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 65.8
傾向	×	×	×	●	●	×	×
回答社数	115	99	83	85	83	83	83

② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

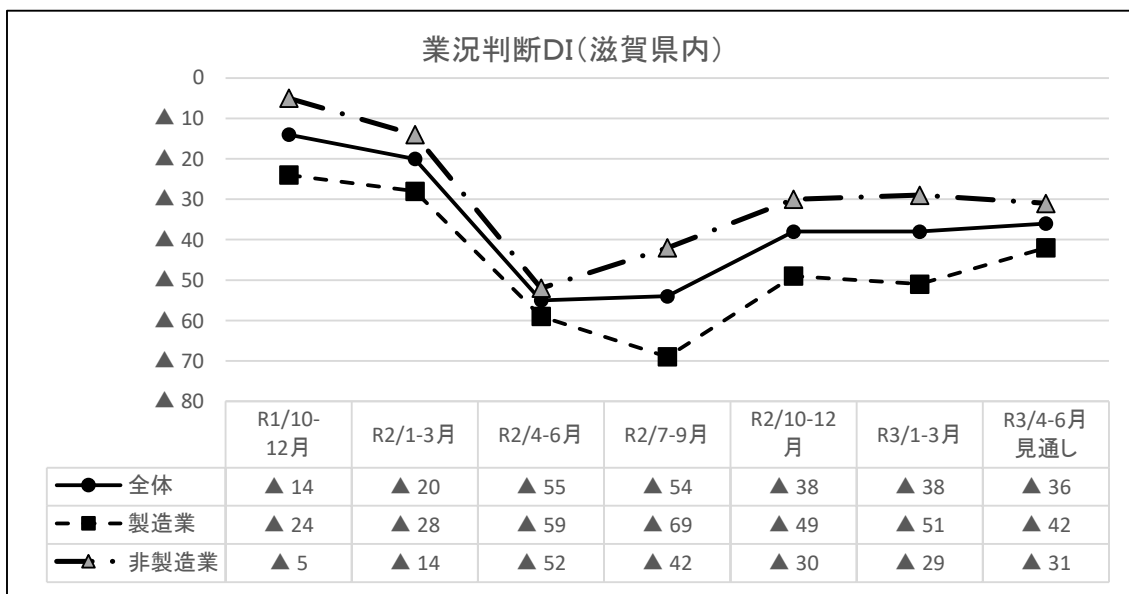
滋賀県内企業のコメント (R3/1-3月期)
<p>【プラスの判断をした企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により生産減少した際に製造工程を見直し、コストダウンを実施。(金属製品製造業)
<p>【マイナスの判断をした企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令により、営業自粛、得意先からの受注減少。(金属製品製造業) ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により工事が延期または縮小され需要が停滞、今後の見通しも不透明。(はん用機械器具製造業) ・自動車産業の半導体の部品欠品による受注量減が見込まれる。(プラスチック製品製造業) ・緊急事態宣言の発令等に拠る需要の減退。(繊維・衣服等卸売業) ・自動車関連産業が回復してきたので今後に期待。(機械器具卸売業) ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が無くなった。(技術サービス業) ・新型コロナウイルス感染症再拡大により、緊急事態宣言が出され身動きが取れず悪化している。(道路貨物運送業) ・受注が大幅減少し、業績が悪化している。(道路貨物運送業) ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、派遣先の業績不振で派遣打ち切りの可能性も否めない。(職業紹介・労働者派遣業)
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で製品により増減はあるが概ね不変。(パルプ・紙・紙加工品製造業) ・半導体不足と中国景気悪化の影響。(非鉄金属製造業) ・新型コロナウイルス感染拡大の状況により、今後設備投資が抑えられる可能性があり弱含み。(機械器具卸売業)

(2) 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」(令和3年2月ー令和3年4月)

R3/2	新型コロナの悪影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている
	<p>製造業の生産活動は持ち直しが続くなか、一進一退で推移している。需要面では、個人消費は一部で伸び悩みが続く品目や業態はあるものの、全体では堅調に推移し持ち直しが続いていると考えられる。しかし、投資需要では住宅投資は増加したものの、民間設備投資と公共投資は不振が続いている。したがって県内景気の現状は、新型コロナ感染症拡大の悪影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いているとみられる。</p>
R3/3	新型コロナの悪影響により厳しい状況にあるものの、持ち直し傾向が続いている
	<p>製造業の生産活動は回復に向けた動きをみせている。需要面では、個人消費は一部の業態や品目で伸び悩みが続いているものの、全体では堅調に推移し持ち直しが続いている。しかし、投資需要では住宅投資は上向く気配がみられるものの、民間設備投資と公共投資は悪化が続いている。したがって県内景気の現状は、新型コロナ感染症拡大の悪影響により厳しい状況にあるものの、持ち直し傾向が続いている。</p>
R3/4	持ち直し傾向が続いているものの、停滞感がみられる
	<p>製造業の生産活動は回復に向けた動きをみせている。需要面では、個人消費は昨年の大幅増加の反動や一部の業態、品目での伸び悩みがみられるものの、全体では堅調に推移し持ち直しが続いている。しかし、投資需要では住宅投資が再び伸び悩み、民間設備投資と公共投資も悪化が続いている。したがって県内景気の現状は、持ち直し傾向が続いているものの、停滞感がみられる。</p>

② 県内企業動向調査（R3/1-3 月実績、R3/4-6 月見通し）〔前期比較〕



景況感は横ばい、4 四半期連続で低水準が続く

	回答社数	R2/10-12月	R3/1-3月	傾向	R3/4-6月見通し
製造業	146	▲ 49	▲ 51	×	▲ 42
繊維	20	▲ 81	▲ 85	×	▲ 85
木材・木製品	-	-	-	-	-
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	9	▲ 50	▲ 78	×	▲ 33
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	-	▲ 50	-	-	-
鉄鋼	-	-	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	12	▲ 56	▲ 67	×	▲ 55
金属製品	20	▲ 19	▲ 55	×	▲ 50
一般機械	15	▲ 40	▲ 33	●	▲ 64
電気機械	11	▲ 45	▲ 55	×	▲ 36
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	-	-	-	-	-
その他	32	▲ 52	▲ 38	●	▲ 16
非製造業	199	▲ 30	▲ 29	●	▲ 31
建設	62	▲ 13	▲ 15	×	▲ 29
不動産	15	▲ 7	▲ 7	▲	0
卸売	28	▲ 55	▲ 43	●	▲ 50
小売	32	▲ 48	▲ 47	●	▲ 38
運輸・通信	13	▲ 33	▲ 38	×	▲ 36
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	30	▲ 31	▲ 47	×	▲ 33
リース	-	-	-	-	-
その他	14	▲ 27	▲ 14	●	▲ 15

③ 県内経済概況「県内景気天気図」

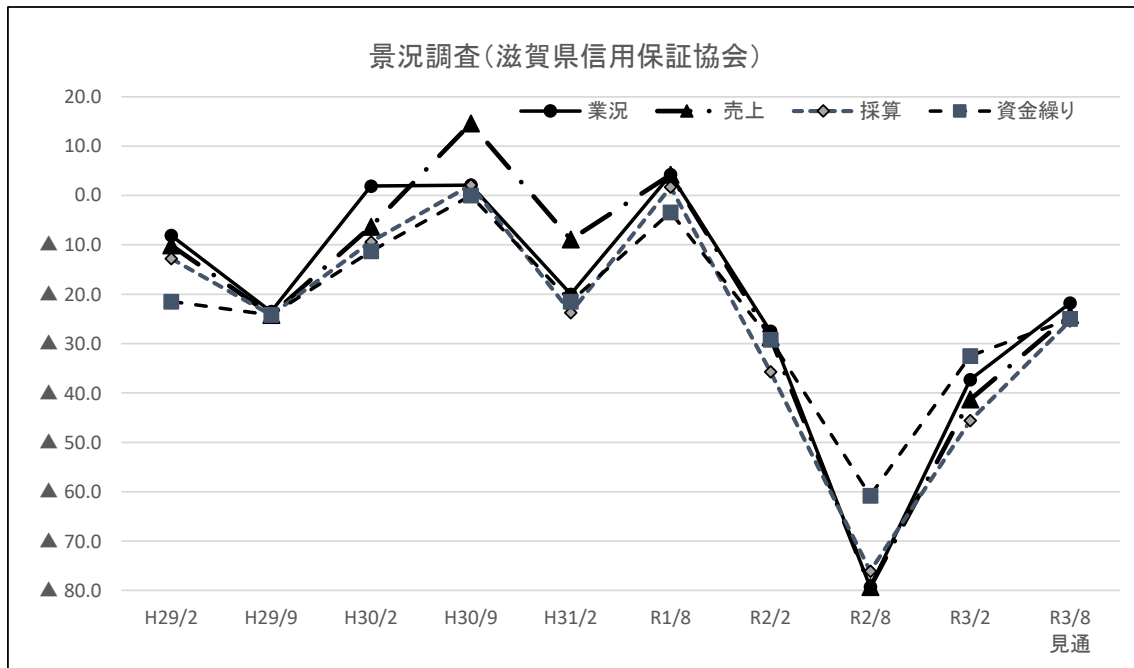
県内景気天気図	R2/10	R2/11	R2/12	R3/1	R3/2	R3/3
現在の景気	▲	●	▲	▲	▲	▲
3か月後の景気	▲	×	▲	▲	▲	▲
生産活動	●	▲	▲	×	●	●
個人消費	▲	▲	▲	▲	▲	×
民間設備投資	×	▲	▲	▲	▲	▲
住宅投資	×	●	×	●	▲	×
公共投資	×	▲	▲	▲	▲	▲
雇用情勢	×	●	×	×	●	×

* 前期比 ▲は横ばい、●は好転、×は悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R3/2)

配布数	500	調査期間	令和3年2月			
業種		建設	25.0%	サービス	21.8%	
製造	17.9%	小売	12.7%	不動産	7.5%	
卸売	5.2%	運輸通信	5.2%	その他	4.0%	
従業員数		5人以下	46.4%	6~20人	32.1%	
21人以上	20.6%	不明	0.8%	回答数	252	



3. 近畿の景況

(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）

令和3年3月

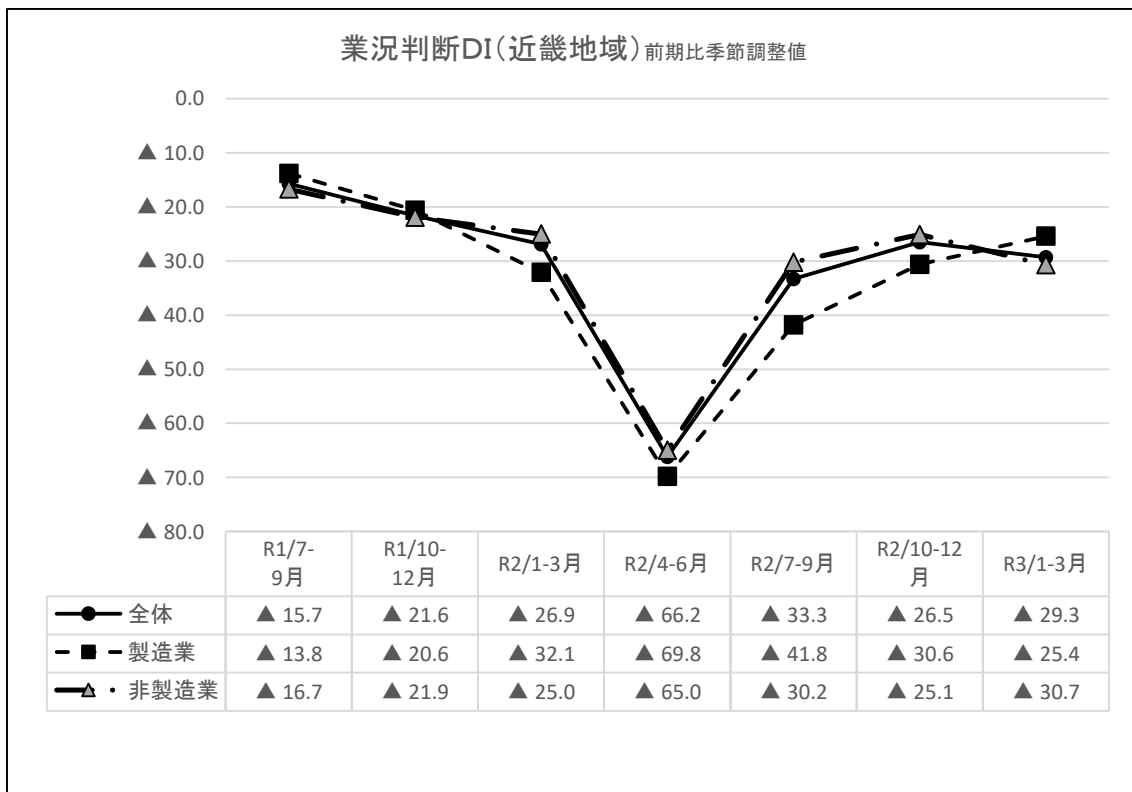
近畿地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところ弱含んでいる。
- ・ 雇用情勢は弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

① 業種別業況判断DI



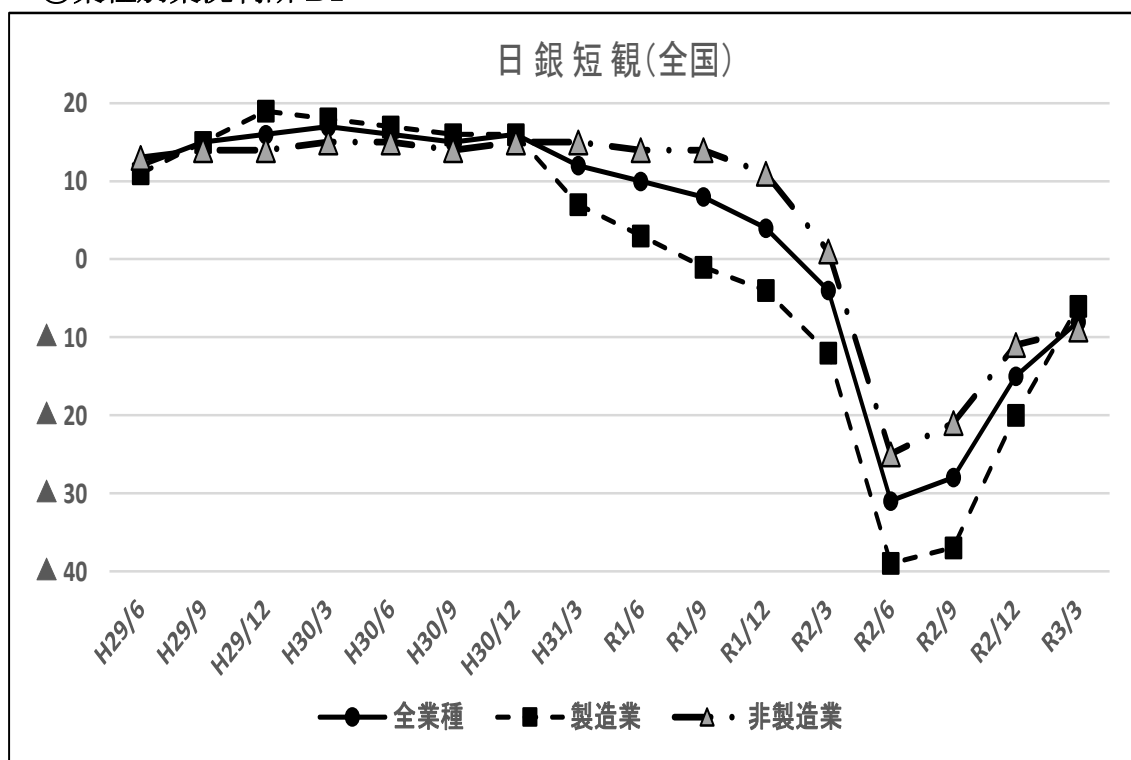
4. 全国の景況

(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

①概況

- ・製造業は前期比 14 ポイント改善 (▲6) し、3 四半期連続で持ち直しコロナ前の水準を回復するも、非製造業は 2 ポイントの改善 (▲9) にとどまった。
- ・大企業・製造業は +5 で、プラスになるのは 2019 年 9 月以来 1 年半ぶり。
「自動車」は 23 ポイント改善の +10 (中国市場の持ち直し等) と、1 年半ぶりにプラスとなった。
「鉄鋼」は▲5 (20 ポイント改善)、「非鉄金属」は +15 (24 ポイント改善)、「生産用機械」は +8 (29 ポイント改善)。
- ・大企業・非製造業は 4 ポイント改善するも ▲1 にとどまった。
「情報サービス」は +31 (8 ポイント改善、テレワークの普及等)、「運輸・郵便」は▲19 (5 ポイント改善、製造業の回復に伴う物流の活性化等)。
「宿泊・飲食サービス」は▲81 (15 ポイント悪化、Go To キャンペーンの停止、緊急事態宣言の再発令等)。

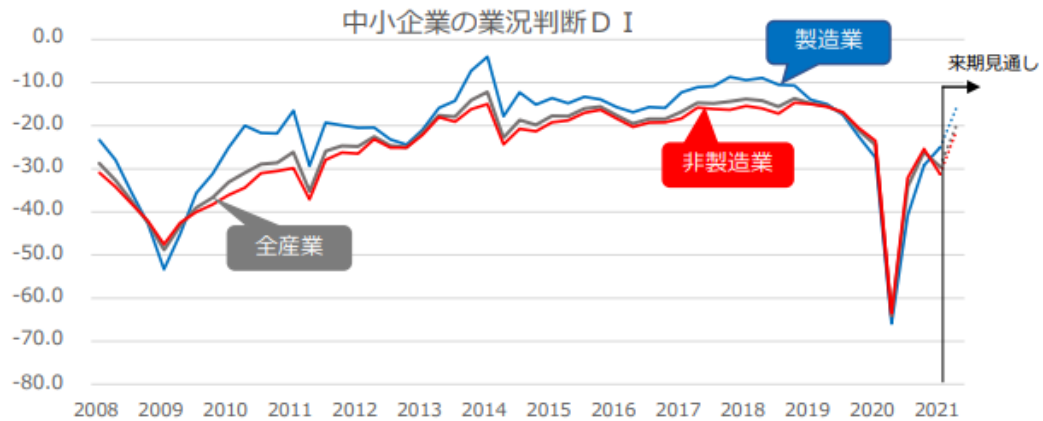
②業種別業況判断 DI



(2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編) 「全国」 [前期比較]

①業種別業況判断 DI

中小企業の業況は、足踏みのなかにも、一部に持ち直しの動き

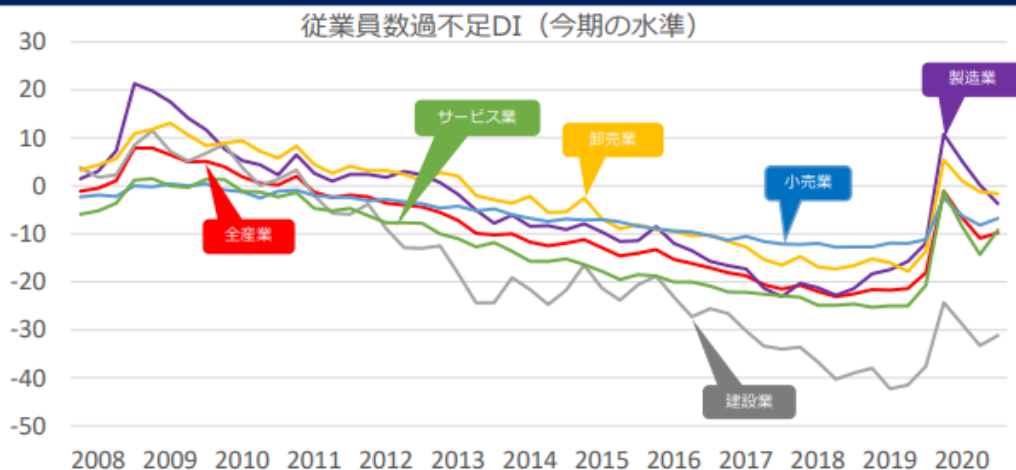


※上記DI：前期（2020年10-12月期）と比べて、【好転】、【不変】、【悪化】の3択で質問し、【好転】割合から【悪化】割合を差し引きし、季節調整を行った値。

中小企業の業況判断DIは、全産業で▲29.5（前期より3.4ポイント減）、製造業で▲25.0（前期より4.2ポイント増）、非製造業で▲31.2（前期より5.8ポイント減）と、足踏みのなかにも、一部に持ち直しの動きが見られた。

②トピックス：従業員数過不足DI

全産業の従業員数過不足DIは3期ぶりに不足感が弱まった



※上記DI：今期の水準について、【過剰】、【適正】、【不足】の3択で質問し、【過剰】割合から【適正】割合を差し引きした値

全産業の従業員数過不足DIは、▲9.8（前期差1.1ポイント増）と3期ぶりに不足感が弱まった。また、産業別に見ると、製造業で過剰から不足に転じ、サービス業、建設業、小売業で不足感が弱まり、卸売業で不足感が強まった。

(中小企業診断士 川副 郷一郎)